

5. 里山と竹

代表 田代 武男

里山と竹害について

シンポジウム：

日時 4月30日(土) 10:00～12:00まで

場所 東金文化会館2階 第二会議室

参加者 22名

竹害について説明

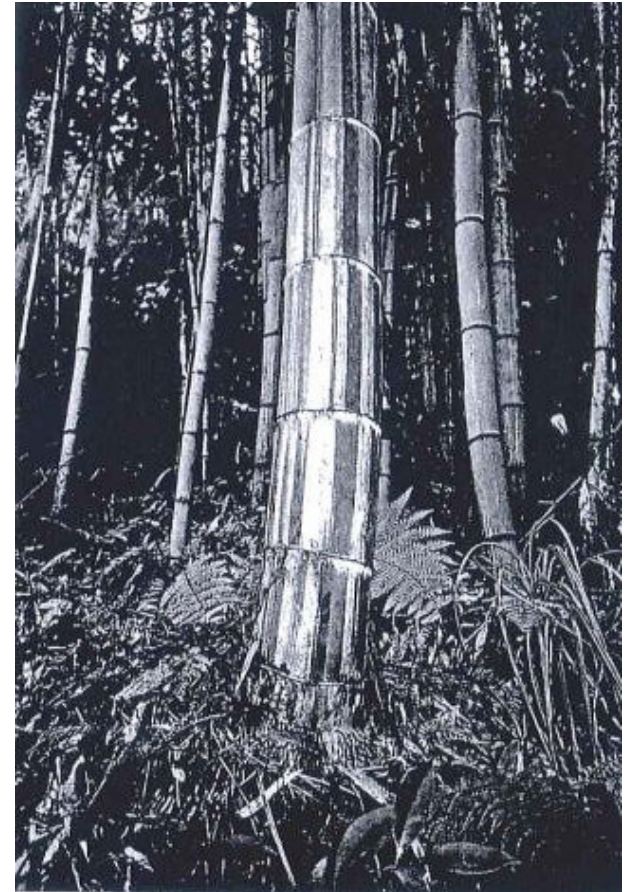
竹についての相談、質問の実施

メンバー

田代武男 (竹研究会会長)

田中昭三 (竹研究会理事)

林 正治 (竹研究会理事)



5 まとめ 里山問題解決には竹の枯殺、竹林の整備が急務

現状

- 1 里山の美しい竹林は、日本の原風景である。
「竹馬の友」といわれるように、これまで子供と竹とは切っても切れない関係にあった。
ところがこの40年間に里山をとりまく環境は大きく変化している。
- 2 里山の荒廃の一因は、放置された竹林にある。
放竹林は里山の生態系に悪い影響を与え、防災の面からその危険性が指摘されている。



結論

- 1 子供たちの健全な育成には、美しい里山、美しい竹林が欠かせない。
- 2 里山を守るためには、竹の枯殺、竹林の整備が急務である。



課題

- 1 竹は地下茎で繁殖する間い特性があり、常識的な対応では歯が立たない。竹に対する知識の普及が必要
- 2 放竹林は生物多様性を低下させ、土砂災害を頻発させる。危険性への認識が求められる
- 3 拡大する竹林を阻止するには、個人では無理である。行政あるいは研究機関に働きかけ、その対応が急務である

